

## リンドウ子房輪紋症ウイルスの伝搬経路

### 【リンドウ子房輪紋症とは？】

- 平成 21、22 年にリンドウ採種ほ場において一用品種の採種親株に発生しました。
- 交配後にふくらんだ子房の表面に輪紋状の病斑が現れます。



### 【原因と病徴】

- 1 リンドウの子房に発生した輪紋症状の原因は植物ウイルスです。
- 2 感染により植物体内（子房、胚珠、茎、葉など）にウイルスが広がります。
- 3 ウイルス感染した場合、子房の表面に輪紋状の病斑が現れます。
- 4 ただし、感染しても輪紋症状が現れない場合があります。
- 5 感染した植物体で、子房以外の病徴は確認されていません。

### 【ウイルスの伝搬経路と対策】

- 1 このウイルスは花粉により伝搬します。
- 2 現在は、花粉のウイルス検定により健全花粉を使用しており、伝搬を防いでいます。

### 【栽培への影響】

- 1 このウイルスに感染しても子房に輪紋症状が発生するだけであるため、切り花生産への影響はありません。